

## 第1章 計画の趣旨

### 1.1 背景と目的

安曇野市では、平成22年11月に安曇野市都市計画マスタープランを策定した。これを踏まえて、平成23年10月に安曇野市幹線道路整備計画を策定し、市道についてはこれに即して整備を進めてきた。また都市計画道路の見直しにも取り組み、必要な路線を精査し、平成24年2月に一部路線の廃止を伴う変更決定を行っている。他方、国道、県道については、各道路管理者の事業計画に基づいて整備が進められており、県道については、市から毎年度挙げる事業要望等も踏まえて順次整備が進められている。

道路は、市民の暮らしの向上や観光を含め産業の発展を支える必要不可欠な都市施設である。厳しい財政状況の中で、安全性の確保や渋滞解消など道路・交通の様々な課題解決を図りながら、時代の変化に伴う社会的ニーズに応じ、利便性や快適性の向上、災害対応力の強化、さらには地域のまちづくり等にも資する道路整備を進めていく必要がある。

安曇野市道路整備推進計画（以下「本計画」という。）は、安曇野市都市計画マスタープランの都市施設整備の基本方針に基づき、道路網・交通体系の構築を図る取り組みとして、国道、県道を含む市内の幹線道路（生活道路※は除く）を対象に、現況・課題を整理し、将来を見据えて、その道路網をより有効に機能させるために必要な整備箇所を見だし、整備優先度を示すことにより、今後の合理的かつ効果的な道路整備に資することを目的とする。

※ここでは、その地域に生活する人が、住宅地から幹線道路に出るまでに利用する道路のことをいう。

### 1.2 策定方針

#### 1.2.1 将来都市像との整合

本計画の策定にあたっては、第1次安曇野市総合計画の基本構想に示された将来都市像（以下枠内参照）と整合を図るものとする。

平成17年10月1日に合併により誕生した本市は、北アルプスの麓に広がる複合扇状地であって、多くの歴史的用水により、県内有数の米どころであるとともに、製造品出荷額等が県内1位であるなど、農林水産業、商工観光業などの各産業がバランスよく発展している。また、田園風景に囲まれた豊かな自然環境と、良好な生活環境を併せ持つまちでもある。

このような中であって、良好な自然環境を維持しつつ、人と環境に配慮しながら、市民が活力と喜びを実感し、将来への希望の持てる個性豊かなまちづくりを進めることが大切である。

このため、市民と行政が協働・連携を深め、恵まれた自然環境の保全と活力ある産業に支えられた魅力的な都市環境の創造に努め、人と人、地域と地域が絆を強め響き合いながら、成長・発展するまちを目指して、将来の都市像を次のように定めている。

**北アルプスに育まれ 共に響き合う**  
**田園産業都市 安曇野**

## 1.2.2 計画の策定方法

本計画は、道路・交通に関する上位・関連計画に示された方向性に即し、今後の道路整備方針を定めた上で、国、県または市の既存の道路整備計画や現在進行中の事業計画、また平成 25 年度に市民等を対象に実施した道路整備に関する意向調査の結果や、これまでに挙がっている事業要望等の内容を、様々な視点で捉えた現況・課題に照らして精査・検証した上で反映を図りながら立案していくものとする。

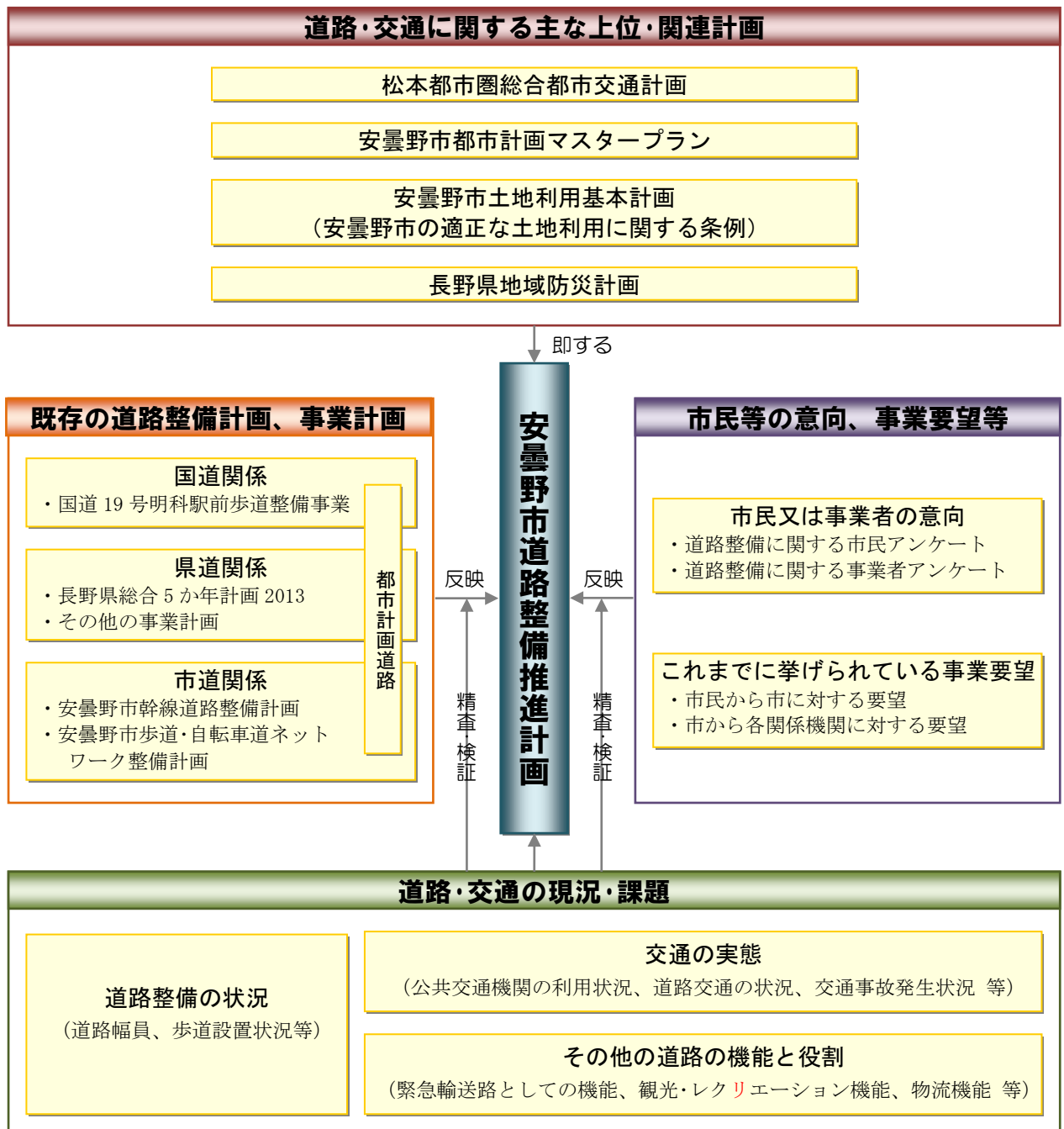


図 1-1 計画の立案フロー

### 1.2.3 計画期間

本計画は、20年程度先を見据え、平成27年度から概ね平成46年度までのものとする。

### 1.2.4 計画検討対象

本計画の検討対象とする路線は、国道、県道及び安曇野市幹線道路整備計画又は安曇野市歩道・自転車道ネットワーク整備計画において検討対象としている道路とする。

また、自動車のみならず、歩行者や自転車など道路を利用するすべての交通手段を考慮して検討を行うものとする。

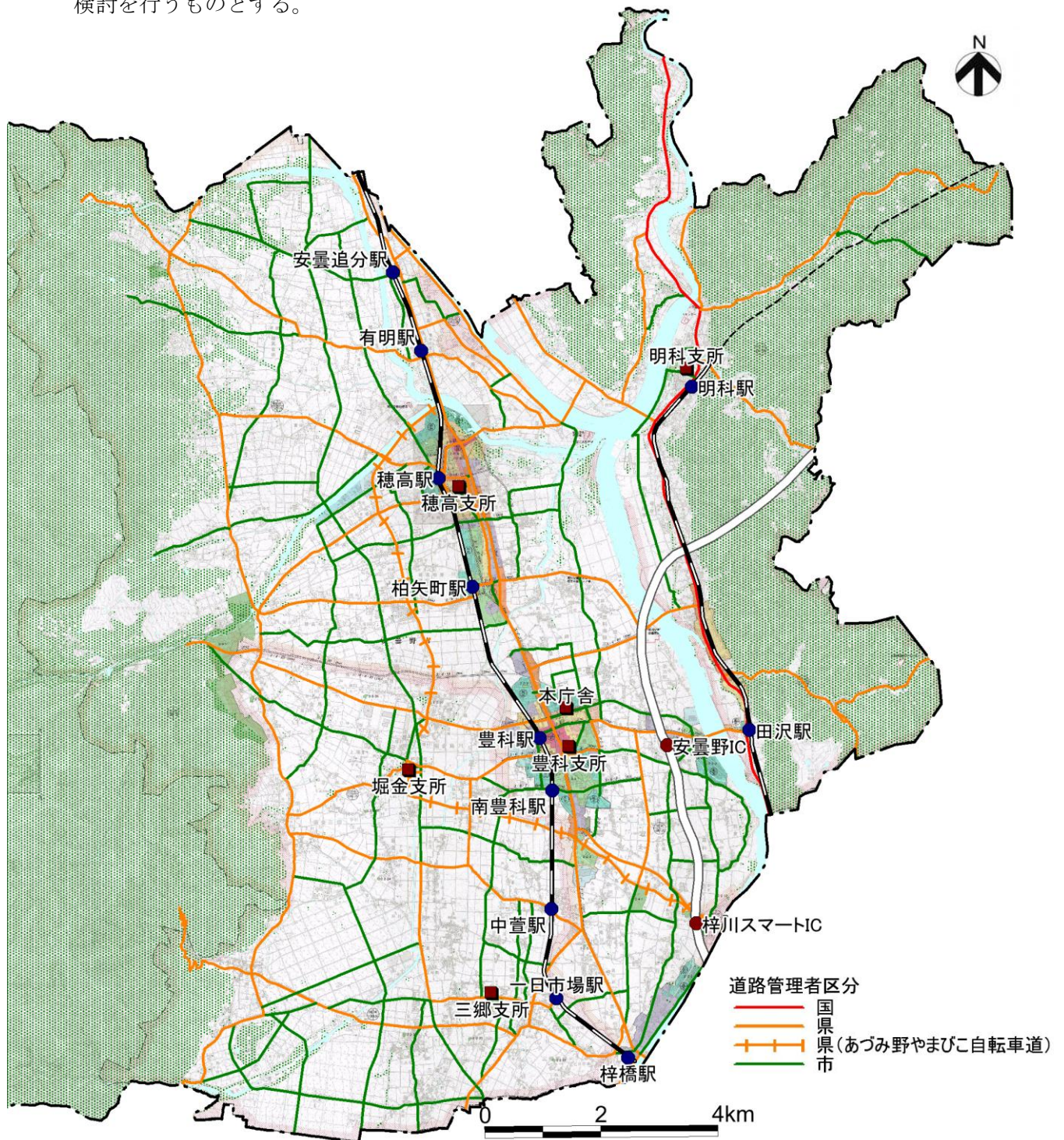


図 1-2 検討対象路線

## 1.2.5 計画策定手順

本計画の策定にあたっては、まず上位・関連計画の内容を整理し、道路・交通に関する現況を把握・分析するとともに、市民や交通事業者の意向を把握し、道路整備における課題や方向性を見いだす。そして、それらの内容をもとに、安曇野市道路整備推進計画策定協議会及びその協議会のもとに設置するワーキンググループにおける検討を通じて、道路整備の方針を定め、安曇野市都市計画マスタープラン等の上位・関連計画に基づいた目標とする道路網（以下単に「目標とする道路網」という。）の詳細化を図り、今後必要な整備内容を具体化していく。これによってつくられた素案をパブリックコメントにかけ、再度市民の意見を反映させた上で策定するものとする。

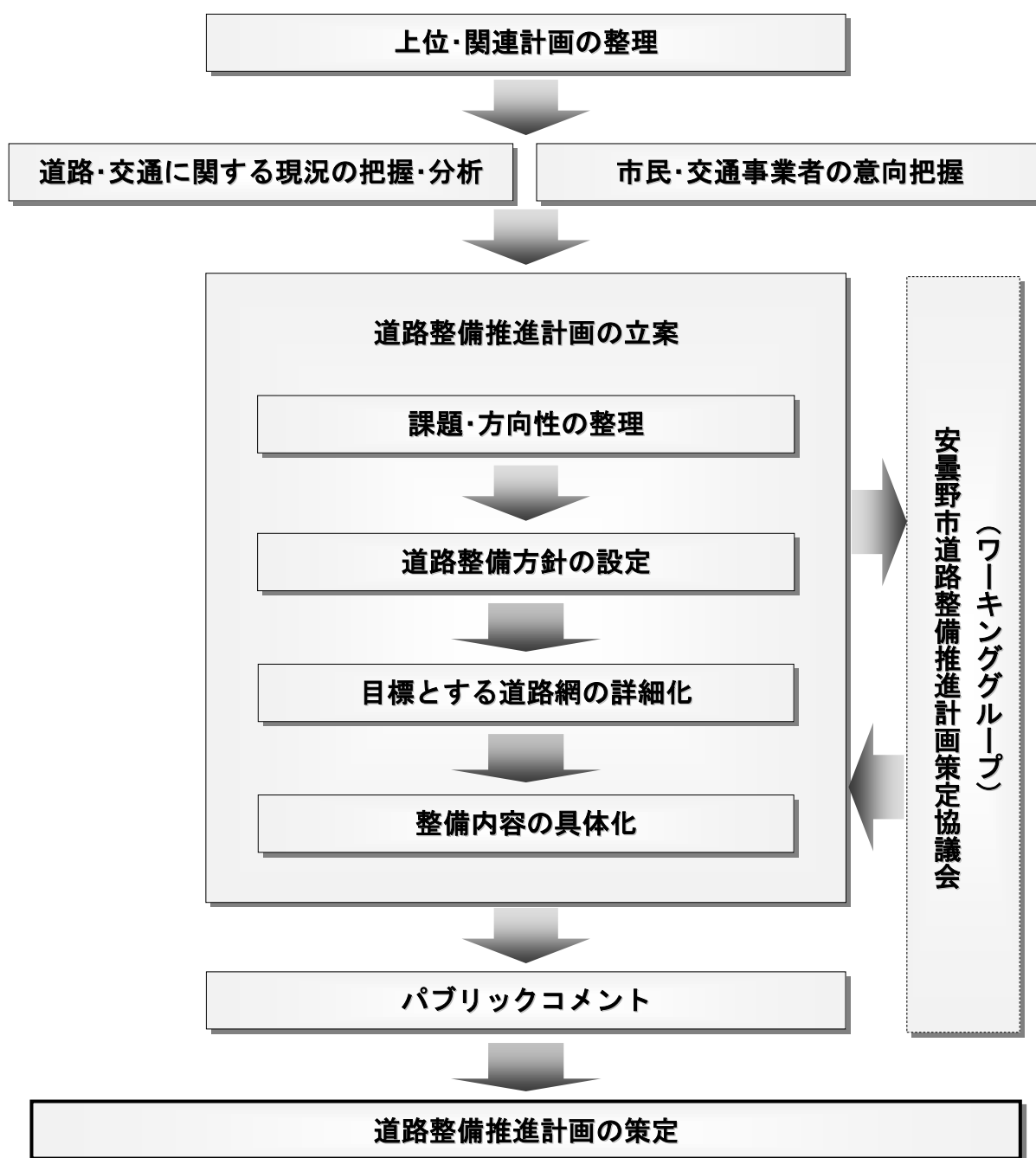


図 1-3 計画の策定フロー